

地下水を安心・安全な水に タイ地方部の水不足解消をめざす

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ナガオカ(大阪府貝塚市、梅津泰久代表取締役社長)が提案する「地方部における超高速無薬注水処理装置「ケミレス」の浄水技術を用いた安全で安心な給水事業の案件化調査」(タイ)を採択しました。

タイでは地方での水のニーズが年々増加する一方、昨今の気候変動による干ばつの問題などもあり、安定した水資源の確保が課題となっています。給水設備が存在しない住民は約825万人存在しているとも言われています。河川から離れた地域では地下水が重要な水源となっていますが、マンガンやヒ素など人体に有害とされる物質が基準値以上含まれる地下水も多いのが現状です。

株式会社ナガオカの「ケミレス」は、地下水に含まれる鉄・マンガン・アンモニア態窒素・ヒ素等を化学薬品を使わず高速で処理できる装置(特許取得済)で、国内外で50件以上の導入実績を持ちます。同社はベトナムで「ケミレス」を用いてJICAの「普及・実証事業」を実施中のため、今回の案件化調査では、ベトナムでのノウハウも活かし、タイで「ケミレス」により地下水を浄化し安全な水を供給することをめざします。タイ地方水道局(PWA)と協力し、タイの地方部の水のニーズと課題を調査するとともに、パイロット試験機を現地の浄水場に設置し性能を確認する予定です。



ケミレス 実証機(ベトナム)

	従来法(薬品処理)	ケミレス
処理フロー	凝集沈殿池+急速ろ過	ケミレスのみ
設置面積	広い	コンパクト
ろ過速度(LV)	120m/日	500m/日
薬品代	有	無
トータルコスト	高	低

ケミレスの特長(鉄・マンガン・アンモニア態窒素・ヒ素処理)

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 小西
 TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp